

2022年03月10日

東急不動産ホールディングス株式会社

「健康経営銘柄」に3年連続で選定 「健康経営優良法人」にも6年連続で認定

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典）は、経済産業省と東京証券取引所が主催する「健康経営銘柄」に、3年連続で選定されたことをお知らせいたします。また、経済産業省と日本健康会議が共同で進める「健康経営優良法人（大規模法人部門、ホワイト500）」にも6年連続で認定されました。健康経営銘柄の3年連続の選定は不動産業で初となります。

「健康経営銘柄」は、東京証券取引所の上場会社の中から、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を評価し、1業種につき原則1企業を選定するものです。「健康経営優良法人」は、上場企業に限らず、保険者と連携して優良な健康経営(※1)を実践している法人が認定されます。

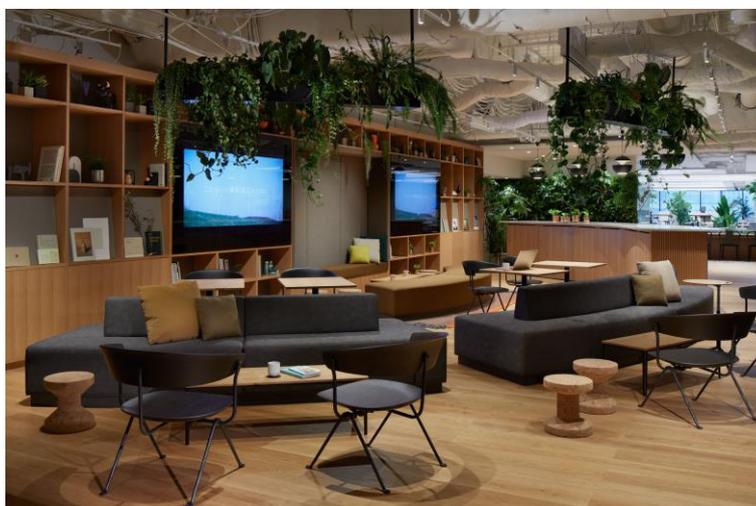
(※1) 健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。



2020年12月18日には、渋谷ソラスタ内の本社オフィス(※2)で、国内デベロッパーで初めて健康・快適性に配慮した建物・室内環境評価システム「WELL Building Standard」(WELL 認証)の「WELL v1 シルバー」を取得しました。従業員が生き生きと働くことができる、健康性と快適性の総合的な取り組みが評価されたと考えております。

東急不動産ホールディングスでは、従業員の心身の健康と活力は企業の持続的な成長の基盤であるとともに、健康寿命の延伸は社会の要請に応えることであると考え、心身の健康を維持・増進するための取り組みを積極的に展開することによって一層、健康経営を推進してまいります。

(※2) 認証の対象は、渋谷ソラスタ：5階～11階 東急不動産 HD およびグループ従業員が使用するフロア



渋谷ソラスタ
のオフィス内

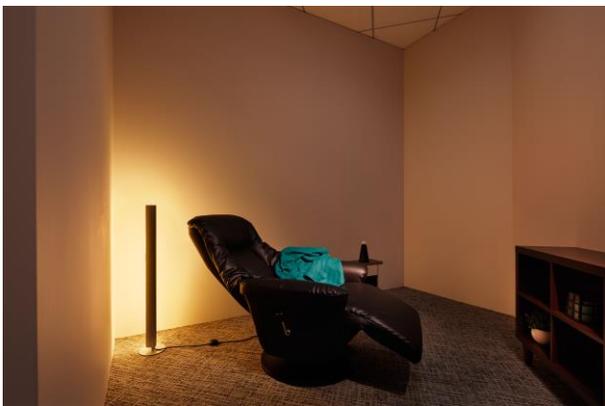
■ 東急不動産ホールディングスの主な取り組み

1. 健康・快適なワークスペースの形成

2019年8月に「渋谷ソラスト」で営業を開始した新本社では、従業員の健康や快適性・生産性を高めるためのワークスペースが整備されています。執務フロアとなる渋谷ソラスト7階～11階では内部階段を設置。部署や階層を超えたコミュニケーションの活性化だけでなく、階段での上下階への移動は従業員の健康増進にも繋がります。

執務フロア内では一人で仕事に集中したい時のための「集中ブース」のほか、パフォーマンス向上のために休息をとる「仮眠室」、デスクワーク中の腰の負担を軽減する「上下昇降机」なども設置しました。仕事の状況や心身のコンディションに合わせて、従業員一人ひとりが自身のパフォーマンスの最大化を考えながら働くことが可能です。また、オフィス内で気軽にフィットネスを行うための「フィットネスエリア」を設けているほか、ビル全体の共用部に加えて、執務席や会議室、リラククスエリアなどにより豊富な緑を取り入れ集中力の向上やストレスの軽減を図る「Green Work Style(※3)」を導入し、生産性の高くなるオフィスを作り出しています。

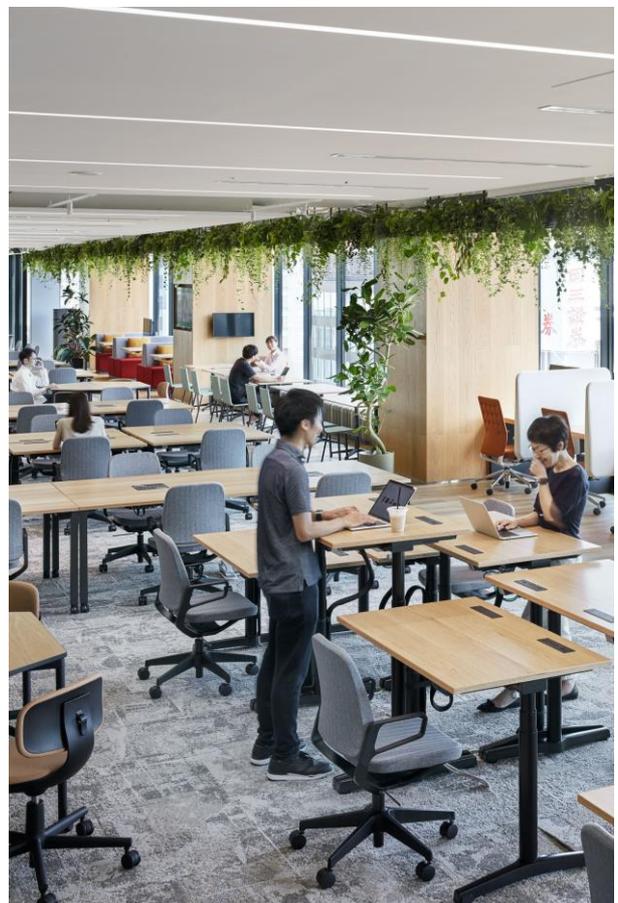
(※3) Green Work Style 詳細はこちらの HP (<https://www.tokyu-land.co.jp/urban/bldg/gws/>) をご参照ください



仮眠室



内部階段



上下昇降机

2. ヘルスケアへの取り組み

従業員の健康課題の発見と解決のため、グループ各社では、健康診断受診率の目標を 100%と定め、またこれらのデータに基づき、リスク・課題を認識・分析しています。目標の設定や成果の測定も定量的な数値をベンチマークとし、PDCA サイクルを回しながら健康経営を進めています。また、管理職・従業員向けに、メンタルヘルスや睡眠、女性特有の健康問題、がんと禁煙に関する研修・セミナーを実施するほか、外部の健康相談窓口（女性専用窓口あり）を設置し、電話・WEB・面談等によるカウンセリングサービスの提供を行っています。

また、新型コロナウイルスの影響で在宅勤務の機会が増える中、運動不足解消のためモバイル端末を活用して気軽に運動を取り入れられる「WEBGYM」アプリの導入や、日常生活の中で歩行習慣をつけるための部門対抗「ウォーキング・キャンペーン」の実施などを通じ、ニューノーマルの中での新しい健康経営にも挑戦しています。

3. 柔軟な働き方の導入

テレワークや在宅勤務制度のほか、フレックスタイム制度や中抜け勤務を認めています。また、過度な残業を抑制するための PC シャットダウンなどを実施。柔軟で自律的な働き方の実現と、健康面での支援を図っています。

■ 東急不動産ホールディングスグループ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」について

東急不動産ホールディングスグループは、2021 年に長期ビジョンを発表しました。「WE ARE GREEN」をスローガンに、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来を実現します。価値を創造し続ける企業グループをめざして、重視する社会課題から抽出した 6 つのテーマに取り組み、SDGs の達成に貢献していきます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）

多彩なライフスタイルをつくる

ウェルビーイングな街と暮らしをつくる

サステナブルな環境をつくる

デジタル時代の価値をつくる

多彩な人財が活きる組織風土をつくる

成長を加速するガバナンスをつくる

貢献する SDGs



東急不動産ホールディングスグループ「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>